



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月7日

上場会社名 クリナップ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7955 URL <http://cleanup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 竹内 宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 川田 和弘

TEL 03-3894-4771

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

2019年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	54,778	9.8	2,224		2,256		1,572	
2019年3月期第2四半期	49,882	6.0	1,159		1,095		1,286	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,436百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 1,131百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	42.95	
2019年3月期第2四半期	35.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	83,941	51,892	61.8	1,417.79
2019年3月期	80,408	50,824	63.2	1,388.62

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 51,892百万円 2019年3月期 50,824百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		10.00		10.00	20.00
2020年3月期		10.00			
2020年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	108,000	3.4	2,450		2,500		1,500		40.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	37,442,374 株	2019年3月期	37,442,374 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2020年3月期2Q	841,050 株	2019年3月期	841,370 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	36,601,127 株	2019年3月期2Q	36,597,169 株
------------	--------------	------------	--------------

(注)期末自己株式数には、「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式(2020年3月期2Q 290,200株、2019年3月期 290,600株)が含まれております。また、「株式付与ESOP信託口」が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております(2020年3月期2Q 290,433株、2019年3月期2Q 294,560株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、2019年11月14日(木)に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策によって企業収益と雇用環境の緩やかな回復は継続した一方、米中貿易摩擦の深刻化や金融資本市場の変動などの影響が懸念されております。

住宅設備機器業界におきましては、消費税増税前の駆け込み需要が見られたものの、回復基調だった持家の新設住宅着工戸数は足踏みを見せ、先行きの不透明感が増しております。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社をいう。以下同じ。）は、2018年9月に新発売したシステムキッチン「STEDIA（ステディア）」や、2019年2月にリニューアルしたシステムキッチン「ラクエラ」など、付加価値の高い商品を市場に提供してまいりました。

販売面では、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供強化を図るため、2019年6月にオープンいたしました「クринаップ・キッチンタウン・横浜」をはじめとした全国102ヶ所のショールームにてイベントを開催し、当社の会員登録組織「水まわり工房」加盟店等の流通パートナーとの連携も深めながら、需要の拡大、獲得に努めてまいりました。

生産面では、東西の生産拠点での生産性向上、VE活動を推進し、原価低減に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高を部門別にみますと、厨房部門では、システムキッチン「S. / CENTRO（セントロ）」は数量、金額とも増、「クリンレディ / STEDIA（ステディア）」は数量、金額とも増、「ラクエラ」は数量、金額とも増となりました。この結果、厨房部門の売上高は前年同期比11.6%増の42,690百万円となりました。

浴槽・洗面部門では、システムバスルーム「アクリアバス」は数量、金額とも増、「ユアシス」は数量、金額とも減、洗面化粧台においては数量、金額とも増となりました。この結果、浴槽・洗面部門の売上高は前年同期比2.0%増の8,567百万円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比9.8%増の54,778百万円となりました。利益面では営業利益2,224百万円（前年同期は1,159百万円の営業損失）、経常利益2,256百万円（同1,095百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益1,572百万円（同1,286百万円の純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は83,941百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,533百万円増加いたしました。流動資産は51,894百万円となり、4,061百万円増加いたしました。これは電子記録債権が795百万円減少した一方、現金及び預金が2,310百万円、受取手形及び売掛金が1,373百万円、商品及び製品が1,077百万円増加したこと等によります。固定資産は32,046百万円となり、前連結会計年度末に比べ527百万円減少いたしました。これは有形固定資産が211百万円減少したこと等によります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は32,048百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,465百万円の増加となりました。流動負債は主に、買掛金が1,007百万円、短期借入金が1,060百万円、電子記録債務が850百万円増加したこと等により3,595百万円増加し、26,291百万円となりました。固定負債は主に長期借入金の減少847百万円等により1,130百万円減少し、5,757百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は51,892百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,068百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益1,572百万円、配当金の支払い368百万円等によります。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の63.2%から61.8%になりました。

(キャッシュ・フロー)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2,310百万円（13.4%）増加して19,492百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果得られた資金は3,762百万円（前年同期比248.5%増）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が2,148百万円、減価償却費が1,610百万円、仕入債務の増加1,856百万円があった一方、たな卸資産の増加1,197百万円があったこと等によるものです。

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は1,192百万円（前年同期比27.1%減）となりました。これは生産設備の改修、ショールーム移転・改装等により有形固定資産の取得による支出が863百万円、情報システム構築に伴う無形固定資産の取得による支出が308百万円あったこと等によるものです。

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は240百万円（前年同期比85.4%減）となりました。これは長期借入金の返済による支出が1,786百万円、配当金の支払いが368百万円あった一方、短期借入金の純増が2,000百万円あったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、不安定な世界経済の影響や、消費税増税後の購買行動の変化など、景気リスクへの留意が必要な状況となっております。

このような中、当社グループは、18中計に掲げたビジョン『暮らし価値創造企業「Cleanup」への変革』の実現のため、2018年2月発売のシステムキッチン「CENTRO（セントロ）」や2018年9月発売の「STEDIA（ステディア）」等の中高級システムキッチンを中心として売上拡大に努めてまいります。また、大切な顧客接点であるショールームでの価値提供を引き続き強化し、会員登録制組織「水まわり工房」加盟店をはじめとした流通パートナーと連携してリフォーム需要を喚起し、効果的な販売活動に注力してまいります。

さらに、生産設備の整備、ショールームの改装、情報基盤整備等への投資の一方、生産面での原価低減、全社的なコスト削減にも努めてまいります。

以上により、現時点での業績予想につきましては、2019年10月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,682	18,992
受取手形及び売掛金	14,577	15,951
電子記録債権	12,309	11,514
有価証券	1,005	1,009
商品及び製品	1,018	2,095
仕掛品	188	213
原材料及び貯蔵品	1,067	1,065
その他	984	1,052
流動資産合計	47,833	51,894
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,171	8,146
その他(純額)	13,318	13,131
有形固定資産合計	21,489	21,278
無形固定資産		
2,810	2,810	2,684
投資その他の資産		
投資有価証券	5,151	5,098
その他	3,288	3,117
貸倒引当金	△166	△131
投資その他の資産合計	8,274	8,084
固定資産合計	32,574	32,046
資産合計	80,408	83,941

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,020	7,028
電子記録債務	6,245	7,096
短期借入金	2,937	3,998
未払金	4,590	4,183
未払法人税等	314	704
賞与引当金	1,133	1,265
株式給付引当金	249	249
資産除去債務	9	—
その他	1,193	1,765
流動負債合計	22,695	26,291
固定負債		
長期借入金	2,379	1,532
退職給付に係る負債	318	117
役員退職慰労引当金	416	416
資産除去債務	381	408
その他	3,392	3,282
固定負債合計	6,887	5,757
負債合計	29,583	32,048
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,267	13,267
資本剰余金	12,351	12,351
利益剰余金	23,833	25,037
自己株式	△680	△680
株主資本合計	48,772	49,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,521	1,477
為替換算調整勘定	4	△17
退職給付に係る調整累計額	525	456
その他の包括利益累計額合計	2,052	1,916
純資産合計	50,824	51,892
負債純資産合計	80,408	83,941

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	49,882	54,778
売上原価	33,376	35,462
売上総利益	16,506	19,315
販売費及び一般管理費	17,666	17,091
営業利益又は営業損失(△)	△1,159	2,224
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	68	72
仕入割引	134	135
その他	93	65
営業外収益合計	305	282
営業外費用		
支払利息	13	13
売上割引	204	210
その他	22	26
営業外費用合計	240	250
経常利益又は経常損失(△)	△1,095	2,256
特別利益		
固定資産売却益	0	0
その他	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	71	19
退職特別加算金	6	4
減損損失	1	83
その他	11	0
特別損失合計	90	108
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,185	2,148
法人税等	101	576
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,286	1,572
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,286	1,572

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,286	1,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	188	△43
為替換算調整勘定	△26	△22
退職給付に係る調整額	△6	△68
その他の包括利益合計	155	△135
四半期包括利益	△1,131	1,436
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,131	1,436
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,185	2,148
減価償却費	1,816	1,610
賞与引当金の増減額(△は減少)	44	132
売上債権の増減額(△は増加)	1,918	△114
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,755	△1,197
仕入債務の増減額(△は減少)	798	1,856
未払金の増減額(△は減少)	△77	△330
その他	△442	△264
小計	1,116	3,840
利息及び配当金の受取額	76	83
利息の支払額	△15	△11
法人税等の支払額	△161	△203
法人税等の還付額	63	52
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,079	3,762
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△722	△863
有形固定資産の売却による収入	0	0
無形固定資産の取得による支出	△578	△308
投資有価証券の取得による支出	△323	△3
その他	△11	△18
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,636	△1,192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,910	2,000
長期借入れによる収入	2,500	—
長期借入金の返済による支出	△1,766	△1,786
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△368	△368
その他	△103	△84
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,648	△240
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	△18
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,228	2,310
現金及び現金同等物の期首残高	20,206	17,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,978	19,492

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

当社グループは、住宅及び店舗・事業所用設備機器関連事業とその他事業を行っておりますが、報告セグメントは単一セグメントであり、重要性が乏しいため、記載を省略しております。